

## 令和2年度学長の業務執行状況の確認について

令和3年2月16日  
学長選考会議

学長選考会議は、広島大学長の業績評価の実施に関する申合せ(平成26年6月10日学長選考会議決定)第3に基づき、下記のとおり令和2年度学長の業務執行状況の確認を行った。

### 記

#### 1. 経過

##### (1) 令和2年度第1回学長選考会議(R2.9.9)

令和2年度学長の業務執行状況の確認の実施方法、スケジュールについて、検討を行い、学長のヒアリングを中心に実施することとした。併せて、学長のヒアリング資料となる学長の業務執行状況の確認の報告書及び監事からの意見書の様式の検討を行った。

##### (2) 令和2年度第3回学長選考会議(R3.1.28)

学長のヒアリングを実施した。

#### 2. 確認内容

##### ○ 大学のビジョンの周知等について

学長メッセージを定期的に発信するとともに、同メッセージの中で、構成員からの意見・提案を受け付けており、双方向のコミュニケーションを行っていることを確認した。

新任教授に面談を行い、広島大学の方向性を理解してもらえるよう努めていることを確認した。

##### ○ 大学改革に向けた取組について

国立大学で初めての取組として、令和2年10月、外国大学のキャンパスを学内に設置(アリゾナ州立大学サンダーバードグローバル経営大学院広島大学グローバル校(ASU/Thunderbird-HU Global College))した。また、中国の首都師範大学と「広島大学森戸国際高等教育学院北京校」の設置に関する覚書を令和2年12月に締結するなど、グローバル化の推進に取り組んでいることを確認した。

##### ○ ガバナンス体制の構築について

学外者2人を非常勤の理事として任命するとともに、副学長体制の強化を図るなど、運営体制の見直しと改善が図られていることを確認した。

##### ○ 対外的取組について

東広島市及び住友商事株式会社と、東広島市及び周辺地域における Society5.0 やスマートシティの実現に関する包括的な連携推進に関する協定を令和3年1月に締結し、地方創生の新たな産学官連携モデルに向け取り組んでいることを確認した。

同協定の内容を踏まえた「カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0 宣言」を行い、脱炭素社会の実現に向けた本学の姿勢を広く発信していることを確認した。

また、首都圏のメディアに、広島大学の活動が取り上げられるよう努めていることを確認した。

### ○ その他

新型コロナウイルス感染症への対応として、令和2年4月に学長を本部長とする「危機管理対策本部」を設置(毎週1回開催)し、「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための広島大学の行動指針」を策定し、未曾有の事態においても学生及び教職員が適切に行動できるようにするとともに、全国の大学に先駆けて「応急学生支援金」を創設するなど、構成員の健康・安全を最優先しながら様々な取組みを行ってきたことを確認した。

### 3. 確認結果

学長選考会議は、令和2年度学長の業務執行状況について、上記確認内容のとおり、学長の業務が着実に執行されていることを確認した。